



五分だより

長崎県立鶴南特別支援学校五島分校



鶴南ごとう発表会



10月25日(土)、「鶴南ごとう発表会」が行われました。今年度は、10周年記念式典とも併せた開催となり、多くの保護者や近隣の方々、卒業生が見に来てくださり、子どもたちもこれまで以上に生き生きとした表情を見せてくれました。

小学部1・2年生は「すてきな ぼうしやさん」の劇で、歌や楽器、ダンスなど、日頃の学習の成果を発表しました。9月から練習を始め、児童一人一人が、頑張ることを決め、朝の会や帰りの会なども利用し、当日まで練習を重ねました。

小学部3・4年生は、劇「かぞえよう くだものの もり」の中でのせりふや動きだけでなく、背景画の作成にも一生懸命に取り組みました。当日は、たくさんの拍手に包まれ、子どもたちの表情も達成感に満ちあふれていました。

小学部5・6年生・中学部は「鶴南五分に ZOOM IN!」と題して、校外学習や職業の学習の発表をしました。「生活」や「総合的な学習の時間」、「音楽」で学習したことを劇の中で楽しく発表することができました。当日は、緊張した表情でしたが、家族の方々に見ていただいたことが子どもたちの自信となり、これからの学習への励みとなることと思います。

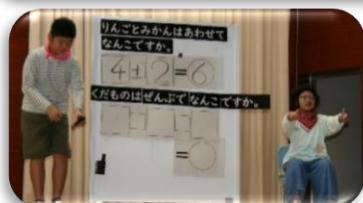
高等部は、長崎に原爆が投下されて80年の節目である本年に、平和について学んだことや感じたことを、詩の朗読や合唱・合奏、身体表現などを通して発表しました。テーマ「ともに生きる」の題のもと、平和の大切さを懸命に伝えました。

開催にあたっては、準備から本番まで、ご理解・ご協力いただき本当にありがとうございました。

小学部1・2年生「すてきな ぼうしやさん」



小学部3・4年生「かぞえよう くだものの もり」



小学部5・6年生・中学部「鶴南五分に ZOOM IN!」



中学部バザー



高等部「ともに生きる」



作品展





「時代の流れ」

教頭 福川 隆司

今年は『昭和100年』に当たる年だそうです。昭和元年(1926年12月25日)から100年が経ち、人の暮らしはどのように変わったのでしょうか。日本で初の地下鉄が上野から浅草まで開通、現在の甲子園球場で開催される高校野球の前身である全国中等学校優勝野球大会でラジオ中継が始まったのは昭和2年のことでした。昭和13年には、燃料不足を補うために木炭自動車が登場するなど、資源の制約が日常生活にも影響を及ぼしたそうです。昭和21年には、漫画『サザエさん』の連載が開始され、昭和39年に新三種の神器と呼ばれる、白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫が一般家庭に普及し始めました。また、東京オリンピックが開催されたのもこの年のことでした。昭和58年にファミリーコンピュータが発売され、昭和61年にバブル景気が始まるなど、高度経済成長によって日本が変貌を遂げたのはこの頃のことです。昭和に換算すると昭和64年の平成元年には消費税が導入され、平成10年(昭和74年)に携帯電話が普及し、平成22年(昭和90年)にはスマートフォン普及率が5割に達し、コミュニケーションや情報収集の手段が大きく変わる時代となりました。

今年度、鶴南特別支援学校五島分校は創立10周年を迎え、節目の年となりました。前身である鶴南養護学校高等部五島海陽高等学校分教室が開設されたのは、平成17年4月のことでした。開設に当たっては、当時の教職員や保護者の方々、地域の並々ならぬご尽力があつたのことと思います。平成22年4月には、鶴南特別支援学校高等部五島分教室に校名を変更しました。小中学部は、平成23年4月に鶴南特別支援学校五島分教室が開設されたことに始まります。小中学部は五島分教室、高等部は高等部五島分教室という期間がありましたが、平成27年4月に現在の校名となり、小中学部及び高等部が共に新たな歴史をスタートさせました。



10月25日に開催しました鶴南ごとう発表会におきましては、ご来賓の皆様、保護者の方々、卒業生や地域のみなさんには、児童生徒の発表をご参観いただき、心から感謝申し上げます。長崎県内で開催された「第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭」(愛称:ながさきピース文化祭2025)と重なり、ピース文化祭を盛り上げる発表会となりました。また、五島分校の創立10周年記念イベントと併せた内容であったため、多くの卒業生のみなさんにご来場いただきました。平成21年度から現在の学校生活の様子を写真スライドで観ていただいたり、在校生と一緒に校歌を歌っていただいたりして、在学中のことを思い出してもらえたと思います。鶴南ごとう発表会は、小学部から高等部までの児童生徒が一同

に会する行事です。日常では、それぞれの学部の児童生徒が顔を合わせる機会が少ないと思いますが、お互いの発表を観て、“頑張っているな”“すごいな”“先輩のようになりたいな”など、みんなが真剣にステージ発表を観ていたのがとても印象的でした。保護者の方々、ご来場の皆様には児童生徒の発表に温かい拍手やご声援をいただきました。長い歴史の中で、人の生活は様々な形で変容しますが、温かい声援や拍手がもつ力は、今も昔も変わらないと感じた発表会でした。ありがとうございました。

